

X002

- T: はい、えー、こんにちは、【T】です。
I: こんにちは、【I】です。
T: あ、【I】さんですね。
I: はい。
T: はい、よろしくお願ひします。
I: よろしくお願ひします。
T: はい、えー、【I】さんは〈はい〉、あの、いつごろ日本にいらっしやったんですか？。
I: えーとですね、99年の12月ですね〈はい〉。
じゅうさい [10歳] のとき。
T: そうすると、もう何年ですか？。
I: 8年前ですね。
T: ほう、そうですか。
I: はい。
T: それから、あの、ブラジルに帰ったりとかしたことあるんですか？。
I: んー、1回だけ、中学校2年生のとき、1回。
T: そうですか。
はい、わかりま…
ブラジルの、どこ出身ですか？。
I: 【地名1】ですね。
T: そうですか〈はい〉。
行ったことないんですけど、【地名1】ってどんなところですかね？。
I: すごく都会ですね、うん。
T: うん。
もうちょっと詳しく教えていただけますか？。
どんなとこなんでしょう？。
I: んー、この【地名2】よりは〈はい〉、なんか、建物とか、そういうの多いですね、やっぱり。
T: はい、うーん。
I: やっぱり、【地名1】は、あの、日系のかたも結構多くて〈はい〉、うん、そういうふうです。
T: んー、なるほどね。
I: はい。
T: そうですか、わかりました、はい。
で、日本に、えー、来て、もう、えー、8年…
I: 8年目。
T: ですね。
I: はい。
T: はい。
で、今は、学生さんで…
I: が…
T: すか？。
I: はい〈はい〉、そうです。
高校3年生です。
T: そうですか。
I: はい。
T: ちょっと、あの、【I】さんのこと全然知りませんので、自己紹介していただいていいですか？。
もう少し詳しく教えてください。
I: んー〈はい〉、自己紹介。
T: どうぞ。
I: えーと〈はい〉、【I】ですね。
18歳〈はい〉。
で、日本に来てから8年目〈うん〉。

X002

で、えー、今、【学校名1】に、かよってまして〈ええ〉、んー、4月から、【地名3】の【学校名2】に、通う予定です。

一応、決まりましたけど。

T: ほー、おめでとうございます。

I: ありがとうございます。

で、この【学校名3】には、小学校5年生から、つい、高校2年生まで、で、高校3年生になって、ちょっと、いったん勉強のためにやめて〈はい〉、今、ちょっと控えていますね。

T: 今？。

I: **…

今、そんな来てないですね。

T: あー、そうですか。

あー、あー、あー、あの、いらしてないということですね。

I: はい。

T: そうですか。

えーと、じゃ、あの、学校行きながら、ここで、えー、日本語の…

I: 毎週土曜日、来て…

T: はい。

どんな勉強が多かったんですか？。

I: あー、やっぱ、全般的にポルトガル語とかは勉強しました。

T: あ、ポルトガル語の勉強に。

I: はい。

T: あ。

I: 毎週土曜日。

T: あー、そうですか。

I: それから、ま〈うん〉、歴史、地理など、そういう、ポルトガル語で覚えたり。

日本の学校で覚えたこともあるけど、なんか〈うん〉、ポルトガル語で〈うん〉、そういう〈うん〉、か、化学とか〈はい〉、ポルトガル語で、何ていうか〈うん〉みたいな、そういうの勉強してましたね〈うんうん〉。

T: そうすると、今、日本にいらしたときが、小学校？。

I: えーと、一応、ブラジルでは〈はいはい〉、小学校4年生を〈はい〉終わりにまして〈ええ〉、こっちでは、ちょっと違うので〈はい〉、小学校よんねんせい〔4年生〕の3学期から通い始めました。

T: ですよ。

そうすると、すごく、ねー、いろんなものが、こう、難しくなったり〈あー、はい〉、面白くなる時期でしたよね。

I: はい。

T: ブラジルと日本〈はい〉、こう、違っていて大きかったと思うんですね。

I: 大きかったですね。

T: どんなどころが一番、あの、戸惑われま、困ったっていうか、はい？。

I: まず、言葉ですね〈うん〉。

やっぱり、そういう、通じなくて〈はい〉、最初は、ちょ、すごく〈うーん〉、んー、ショックでしたね〈うん〉、ちょっと、あまりにも通じなくて〈はい〉。

で、あとは、やっぱり、学校にいる時間が長くて、そういうのあまり慣れてなかったですね〈うーん〉。

T: それ、どうやって、その、たぶん学生の、え、スタイルも違いましたよね、きっと。

I: はい。

T: 学び方みたいな。

I: はい。

T: どうやって、克服というか、自然ですか？。

I: やっぱり、し、んー、やっぱり、自然に〈うん〉慣れてきますね〈うん〉、嫌でも〔笑〕。

T: そうですか。

I: でも、やっぱり〈うん〉、ブラジ、同じブラジ、日系人のブラジル人のかたも〈うん〉多くて〈うんうんうん〉、結構手伝ってくれたりとか〈あー、なるほどね〉、通訳してくれたり、かなり助かりましたね〈んー、

X002

うんうん), その点では。

T: ていうことは, みんな, ここに集まって暮らしてるから…

I: そうですね。

T: それ, すごくいいという…

I: うん, いいと思いますね。

T: ことですねー。

I: そ, はい。

T: でも, ばらばらに暮らして, 日本人の間にいるん, と, また逆に違う…

I: でも, やっぱ, 自分は〈はい〉, 【地名4】県とか【地名5】にも, いとこが〈はい〉いまして〈はい〉, そういう同じ9歳とか10歳で, 来た。

でも, あっちは, そういう, 密集してなくて, ブラジル人は〈はい〉。

で, 今では, 全然ポルトガルを話さない状態で〈はい〉, それでも, ちょ, んー, 難しいですね。

T: なるほどねー。

I: はい。

T: もう, やっぱ, 絶対, もるどが, ポルトガル語で, あの, きちんと, それを〈はい〉, あの, 持ち続けた
いということですよ。

I: もちつ, そうですね。

T: そうですね。

そのためには, どんな努力は, あの, ここは【学校名3】があるからいいですけど〈はい〉, 普通ないですよ
ね〈はい〉。

どんなことしたら, それが可能になるんですかね?。

I: いや, んー, 親も〈はい〉, あの, しん, ブラジ, あ, ポルトガル語の新聞とか, とってたりしてますし〈あ
ー, はい, はい〉, 自分も, 本とか, ポルトガル語で本読んだり〈んー〉してますので〈はい〉, それで, 結
構, 忘れないようにしてますね。

T: んー, なるほどね〈はい〉, そうですね。

で, えっと, 【I】さんの〈はい〉趣味は何でしょうか?。

I: 趣味はですね, まー, んー, 漫画が好きですね {笑}〈ほー〉。

なんか, ブラジルのときから, ちょっと, そういう, 漫画って, そういう, ほかの国にはなかったんで,
そういう, あ, ありますけど, なんか, 日本とは違うんですよ〈はい, はい〉, なんか, スタイルが〈はい〉。

で, それ, すごく, き, 好きで〈うん〉, に, 日本に来てからも, 日本語がわからなくても, とりあえず
買って〈うん〉読んでましたね。

T: ちょっと待ってください。

ブラジルと日本の漫画が違うということですね。

いろいろ…

I: そうですね。

T: あの, かなり違うと, 特徴が。

I: そういう, え, 絵とか。

T: ほー, ほー, なるほど。

I: そういう, ストーリーが…

T: ブラジルの漫画ってどういうところが特徴なんですか?。

I: わ, んー, そ, やっぱ子ども向けのが多いんですよ。

こ, {プレス} こういう, んー, 高校生に〈はい〉なっても読むような漫画は, そういうのはあまりないで
すね〈あー, なるほど〉。

あるとしたら, あの〈んー〉, アメリカとかから来たの〈うん〉, バットマンとかスーパーマン〈うんうん
うん〉, そういう系〈うん〉しかなくて〈んー〉, そんな好きで, ではなかった。

T: なるほどね。

えーと, すごく面白い漫画って, ま, 日本の漫画で, 何ですか?。

I: あー, そ, それは, やー, たくさんいますね〈うん〉, やっぱ。

T: 1つ挙げてみてください。

I: 1つですか, 難しい〈うん〉。

X002

うーぬん、あ、『ナルト』、『ナルト』とか、『ワンピース』。

T: んー、わたしは、よくわからないんですけど〈はい〉、『ナルト』は、どんな、あれなんですか？。

I: え、忍者とかの話です {笑}。

T: うん、ちょっと、お、詳しく、こう、教えてください、ストーリーでも、***…

I: なんていうか〈はい〉、えー、いや、最初、なん、その漫画は、あの、毎週月曜日発売されるんですが〈はい〉、そういう、いろんな漫画と一緒に〈はーはー〉、こう〈はい〉、少しずつ入ってるような〈はい〉、『少年ジャンプ』っていう。

T: なるほど、あ、『少年ジャンプ』。

I: で、それを買って〈はい〉、それを読んでます〈ええ、ええ〉。

で、そういう、いろんなのが入ってまして〈あー〉、それが、そうですね。

T: それの面白さって、どんなところですか？。

I: やっぱ、絵とかも好きで〈うん〉、ストーリーとかも〈うん〉すごく面白いですね〈うん〉。

そういう、やっぱり、ブラジルにはないような〈はい〉、そういう漫画とか〈はい〉、そうです。

T: じゃ、その、ちょっと、ストーリーを教えてください、詳しく。

I: ストーリーですか？。

T: はい。

I: えーと、あー、ナルトは主人公の名前で〈はい〉、その、にん、ま、忍者の里に〈うん〉暮らしてまして〈うん〉、それで、まー、仲間と、こう、行動して、それで、ま、ぼきん [冒険] していくようなかたちですね。

T: な、何？。

I: 冒険。

T: あ、冒険をしていくんですか？。

I: ま〈はい〉、そうです。

T: 例えば、どんな冒険をして…

I: そういう任務、任務とかを〈うんうん〉受けて〈うん〉、それを〈うん〉こなしに行くみたいな〈ふーん〉。

T: 例えば、どんな、任務の冒険 {笑} ？。

I: すごい、そこで、そこで、例えば、ごーえい [護衛] とか〈うん〉、偉い人のごーえ [護衛] をして〈はい〉、そこで敵の〈はい〉忍者が、こう、襲ってきて〈うん〉、それを戦ったりとか〈はー〉、基本 {笑}、好きですね。

T: そうですか〈はい〉、なるほどね。

そういう、そういうのはブラジルにはない？。

I: ないですね〈んー〉。

でも、今では、そういうの結構入ってきてますので〈うん〉、結構人気ですね、あっちでも。

T: んー、なるほど。

I: 今では、はい。

T: あ、それ、ポルトガル語に訳されて、あると。

I: そうですね。

T: そうですか。

I: はい。

T: なるほど。

で、あの、今ね、あの、日本では、その、小さい子の漫画じゃなくて〈はい〉、大人の漫画もあるという、ですね？。

I: そうですね、そういう〈はい〉、そういう、なんというか、も、ストーリーがちょっと深いような漫画とか。

T: あ、深い。

I: そうですね。

T: んー。

だけど、あの、そうですね。

確かにそうなんですけど、あの、電車の中でね〈はい〉漫画を読んでいる、にほ、あの、えー、大人の人っていうのは、外国の人から見ると、信じられないってよくいわれるんですけど〈{笑}〉、それについてはどう思いますか？ {笑}。

I: いや、自分は、もう、普通にやっときます〈あー〉、基本は。

X002

- T: 何も不思議に思わない？
- I: でも、やっぱり〈うん〉、外国では、そういうの無いですよ、たぶん。
- T: ないですよ。
- I: 来たとき、来て、それを見ると〈うん〉、あえ、な〈んー〉、不思議ですね、最初は。
- T: 不思議でしたか？
- I: そう。
- 大人でも読んでるんだ〈はー〉、みたい。
- でも、あとから、ああ、こういうジャンルのものもあるんだってのを見つけて〈んー〉、なんていうか…
- T: なるほどね〈はい〉。
- じゃ、もう、それは、電車の中で読んで、全然不思議じゃないし。
- I: はい。
- T: いいじゃないか。
- I: はい {笑}。
- T: でも、実はね、【I】さんの、みたいに、よくわかってくれ、ね、る人はいですけど〈はい〉、いろんな人が批判するんですね。
- I: んー、そうですね。
- T: これ、どうしたらいいんですかね？
- I: *…
- T: 誤解ですよ {笑} ？
- I: あー、そうですね〈んー〉。
- や、さ、あー〈うん〉、説明するのは難しいけど〈うん〉、…
- T: でも、なにか、やっぱり、せつかくだったら、その、ね〈うん〉、誤解は、やっぱり解いたほうがいいですよ？
- I: そうですね〈うん〉。
- T: うん。
- なんか〈うん〉方法はないですかね {笑} ？
- んー…
- I: あー、やっぱり、そういうのを見せていかなきゃいけないんですよ、そういう、こういうのありますよ、みたいな〈あー〉。
- 一応、自分も〈うん〉、親もいまして〈うん〉、また漫画買ってるのって怒られて〈うん〉、でも、で〈うん〉、1回説明したことあるんですよ〈はい〉、こういう〈はい〉、こういう、いろんな漫画があるっていうのが〈はい、ほー〉。
- で、あー、そうなんだ。
- ちょっと、あっちは、もう、理解してくれて。
- T: なるほど。
- そうすると、日本は、あの、よくね〈はい〉、いわれるのは、あの、説明する力がない、説明能力っていうんですけどね〈はい〉、それがよくいわれる、そういうこといわれるんですけど、外国との付き合いとか。
- I: それは、ま、…
- T: どうですかね、周り見ていて…
- I: それま、ま、…
- T: 自分の言いたいことが、うまく言えない、政治家もそうですし {笑}。
- I: {笑}。
- いや〈んー〉、あー、そういうの、ちょっとありますけど〈うん〉、そ、そんな国じゃないですね。
- T: あ、そういうのはあまり感じないですか？
- I: はい。
- T: そうですか、はい。
- で、あの、えーと、こ、今、高3で、えー、今度、大学っていうこ…
- I: はい。
- T: 大学では、特に、どんな勉強で、もう…
- I: 特に…

X002

T: ちょっと, そういう, 詳しく, はい。

I: 英語を〈はい〉勉強していききたいですね〈はい〉。

やっぱり, こう, ポルトガル語と〈うん〉日本語, 覚えてきて〈うん〉, 将来的には, ちょっと, できれば, そういう通訳, なんとか〈うん〉, できればいいなと思ってまして〈はい〉, で, そこで, やっぱり, 英語を取り入れれば, かなり〈うん〉, そういう, 幅が広がりますので。

T: うん, 英語を中心に勉強なさるんですね。

I: そうですね, はい。

T: で, 将来的には通訳?。

I: はい。

T: んー。

I: できれば, やっぱり, そういう, 今, 外国でも, ちょっと人気の出てる漫画とか, そういうの〈うん〉, それを, 例えば, 外国に持って行くよ, おし, そういう, 訳していくみたいな, それも, ちょっと, 面白そうですね。

T: あ, 翻訳とかもやって…

I: そういうの…

T: 文化をこう, ***ですね。

I: そうですね。

できれば, その〈はい〉, 文化を〈うん〉広めたいですね。

そういう, 自分の好きな〈んー〉, *…

T: で, 文化っていうと, ブラジルの〈ええ〉文化と日本の文化, ずいぶん違いますよね。

I: 違います, はい。

T: 一番, やっぱり, びっくりというか〈はい〉, あの, ゆ, したところは, どのところですか?。これは違うっていう。

I: んー, やっぱり, 自分は, あの, 12月に来日したんですね〈はい〉。

で, その, 正月に, やっぱり, ブラジルでは〈うん〉, 花火とか, すごく派手なんですよね〈はい, はい〉, 毎年〈ええ〉。

で, 日本に来て, それが全くなくて〈うん〉, すごく驚きましたね〈はー〉。

なんか, 静かで〈はい〉, なんか, すごく, やっぱり, ブラジルには, そういう, おいわ, 祝ったりとか, そういう, 騒いだりするのが〈うん〉好きなんで…

T: なんか, もうね, 人もいなくて〈そう〉, しーんとしたお正月で {笑}。

I: で, むしろ, そういう, うるさくすると, こう, く, 苦情が来たりとか〈んー〉, それが, なんか, んー, かなり違いましたね。

T: そうですね。

じゃ, 【I】さんは, やっぱり, その, 楽しいときは, に, も, みんなで賑やかになっていうほうが〈はい〉いい?。

I: いいですね。

T: はー。

じゃ, 日本のお正月は, ちょっと, {笑}。

I: そう {笑}。

もうちょっと盛り上がりもいいんじゃないか。

T: あー。

それは, やっぱり, 日本人の, やっぱり, そういう〈はい〉, し, 静かなものを…

I: あー, それも, ある。

T: ということですかね。

I: うん, そうですね。

それもありますね。

T: んー。

じゃ, そのブラジルの良さを, どうやったら, もう少し日本の人が理解して, 私もそう思うんです, り〈はい〉, もうちょっと, 日本の社会とか, 日本人〈はい〉, 変わるべきだなと思うんですけど, どうしたらいいんですかね, そういうのは?。

X002

- I : やっぱり, こう, すぐ, こう, しらい, ブラジルでの知り合いで, こう, 日本の学校に, かよってない子でも, すぐ, なん, こう, 日本人に〈うん〉目が合っただけで, ななによ [なんなの] 日本みたいな, そういうの, すぐ文句言ったりとか, そ, そういうんじゃないくて〈うん〉, たぶん, もうちょっと, お互い, こう, コミュニケーション, って…
- T : ちょっと待って, 目が合ったら, 文句言う？
- I : 目が合っただけで〈はい〉, ちょっと, あー, あの人なにってるんだろなって。
- T : あ, 日本人の場合ね。
- I : そうですね〈はい〉。
外人だから, なに見てんの* 〈うん〉。
すぐ, そういう文句, 言っちゃうんですよ 〈うん〉。
そういうんじゃないくて〈うん〉, ちゃんとしたコミュニケーションとか 〈うん〉, そういう, ちあ, 日本人に, たしてくと, でかけたりとか 〈うん〉, ブラジル人たちだけではなく 〈うん〉, ちょっと 〈うん〉, 日本人たちと 〈うん〉 コミュニケーションとってみようとしたりとか 〈うんうんうんうんうん〉, そういうの, もっとしなきゃいけないと思いますね。
- T : お互いにね。
- I : はい。
- T : 日本人も, もっとすべきですよー。
- I : ま, 日本人も, そういうの, いますけどね, はい。
- T : けど, どうしても日本の人たちは〈そうですね, うん〉, あ, わたしも含めてですけど, 違うもの〈うん〉, 外国の人が〈そうですね〉, 違うものを, こう, 排除〈はい〉, いえ, ごう, ね, こう, なるべく〈はい〉, あたしたちは〈そうですね, はい〉, いいっていうのは, さけるってとこ, ありますよね 〈うん〉。
それ, どうやったら, あたしは, 変わるのかな, と。
それが変わらないと 〈そうですね〉, ハッピーになれないですよ 〈うん〉, 本当の意味で。
- I : それは難しいところですね。
- T : ねー。
でも, 2つの文化をね, 非常にいいかたちで体験してる【I】さんなんか, どんなふうにしたらいいと思われませんか？。
ん, うん。
- I : あー〈はい〉, どうですかね 〈うん〉。
やっぱり, こういう, 【地名2】とかでも, あの〈はい〉, カーニバル祭りとか 〈うん〉, 今年もありましたし, そういうの, 日本人も, ちょ, 積極的に 〈うん〉 参加してみたりとか 〈うん〉, そういう, サンバとか踊ってる日本人も 〈うん〉 いるし 〈うんうん〉, そこで, お互い話し合っって 〈うん〉, それで理解, 何ていうか 〈うん〉, それを機会に 〈うん〉 ブラジル人の友だちとか 〈うんうんうん〉, そうやって増えればいいのかな。
- T : そうですね 〈はい〉。
じゃ, もしね 〈はい〉, 【I】さんが 〈はい〉, そのカーニバルの 〈はい〉, その, 責任者だったら 〈はい〉, 学生のほ, がわの 〈はい〉, どんなふうなことを, かんが, 対策を考えますか？。
日本人が, で, できるだけ入り込んで, そこから, なにか始まる 〈うん〉。
- I : やっぱり, カーニバルでも, もう, 実は, あの, 大会なんですよ, あれ, ブラジルで行なわれる 〈はい〉。
それを, それは知らない日本人とか, そういうの多くて, だ, 例えば, そういうルールとか 〈うん, うん〉, なんて, こういう衣装着てるのかとか 〈うん〉, そういうの, ちゃんと日本語で説明したりとか 〈うん〉, そういうのも, あー, やっぱり, 理解してからこそ 〈うんうん〉 楽しめるっていうのもありますから。
- T : そうですね。
- I : はい。
- T : ということは, カーニバルを, 主催者側も, まだ, あまり発信してない, のか, でしょうか？。
- I : んー, それは, たぶん, そこで, もうちょっと力を入れてくれば 〈うん〉, そうやって, 日本人たちにも 〈うん〉, あー, これやすいように 〈うん〉, できると思いますね。
- T : そうですねー 〈そうですね, はい〉。
えーと, お住まいはお近くですか？。
- I : あ, そう, 【地名2】です, そう。
- T : あ 〈はい〉, そうですね。

X002

で、ずっと、ここに住んでいるんですよね？。

I : そうです、はい。

T : で、あの、【地名4】とかに、いろいろ、いとことか〈いとこ、はい〉、いらっしゃるって仰ったんですけど、この【地名2】は〈はい〉、その、【地名4】とか、いろんなところから見て〈はい〉、えー、もうちょっと、広く、くしてもいいんですけど〈うん、はい〉、このあたりの良さっていうのは、街の良さっていうか、特徴って、どんなところですか？。

I : 特徴…

T : さっき仰ったね、ま、集まって住んでるっていうことですけど〈んー〉、特に？。

I : はい。

特徴、うーん、、、うーん〈うん〉、い、や、も、無理、難しいですね〈はい〉、ちょっと。

んー、でも、あ、【地名4】とかよりは〈はい〉、たぶん、こっちのほうが、日本人[^]とブラジル人が、ちゃんと、何ていうか、ふれあっていってると思いますね〈はー〉。

あっちでは…

T : あ、あちらもまわって、あの、…

I : ブラジル人、ブラジル人だけで、かたまって〈んー〉行動したりとか〈うん〉、こっちでは〈うん〉、例えば、自分とか友だちとか〈うん〉、日本人とかブラジル人とか、全部混ぜて…

T : あ、いいですね、それはね。

I : それで、出かけたりとか〈うん〉、遊んだり。

たぶん〈うん〉、たぶん、こっちのほうが、はい、こっちのほうが、ブラジル人に慣れてる〈うん、うんうんうん〉、そういう外国人に慣れてる、日本人のほうが〈はい〉多いと思いますね。

T : なるほど、そうですか。

あの、さっきね、漫画が趣味って仰ったんですけど〈はい〉、テレビなんかもよく見ますか？。

I : あー、見ますね、はい。

T : そうですか。

テレビ見たり〈はい〉、で、ま、ドラマですか、それは？。

I : たまには、ドラマも見ますね。

T : うん。

で、テレビ見たり、あと、よく本も読むんですか？。

I : 本…

T : うん、小説とか、どうでしょう？。

I : 小説、あー、日本語の小説、あんまり読んでないですね、それは。

T : ほう。

ポルトガル語では、よく読むんですか？。

I : はい〈うん〉。

んー、月に〈うん〉、月に1冊ぐらい読む。

T : あー、そうですか。

I : いや、そんな多くないかな {笑}。

T : あ、で、あの、1つでいいんですけど、1冊で。

I : まー、…

T : あの、すごく面白かった小説ってありますか、ポルトガル語の？。

I : あー、自分、やっぱり、まだ、そういう『ハリーポッター』シリーズとか、『ロードオブザリング』〈うんうんうんうんうん〉、あとは〈うん〉、『ダビンチコード』とか〈うんうん〉、その、『ダビンチコード』の作者[^]が書いた〈はい〉本とかも、そ、ちょっと読んでまして。

T : あ、なるほど。

その、『ダビンチコード』、あたしも、ちょっと読みかけて、ちょっと、あれなんですけど〈はい〉、ちょっと、ストーリー教えていただけますか、詳しく、はい？。

I : 詳しくですか？。

T : はい。

I : んー。

ちょっと、ポルトガル語で読んだんで、ちょっと説明しづらいんですけど。

X002

T: え、わかるところだけで結構ですけど、はい。

I: えーと〈うん〉、あー、やっぱり、あの、イエスキリストの〈はい〉、その、秘密とか〈うん〉、実は、こういう、妻があつて、ちゃんと息子もいましたよ〈うん〉、みたいな、そういうの、秘密があるのに〈うん〉、教会がそれを〈うん〉隠してるっていう〈はい〉、うん。

あ、で、その、秘密が〈うん〉、えがかれてる、なん、ものを探そうとして〈はい〉、それで、主人公が〈うん〉、あの、探していく〈うん〉ような〈はー〉ものです〈はーはーはー〉。

まだ、**、んー、映画を見てないんですね〈はー〉。

ちょっと、ちょっとだけ見たけど、違うので、やっぱり。

T: あ、あれね〈そうそう〉、そ、はい、ずいぶん、そうですね。

I: それ、見てないです。

T: そうですか。

I: はい。

T: あれが、あんなに大人気というか、あの〈はい〉、あ、も、あの、受け入れられたっていうのは〈あー、そうですね〉、どういうところにあるんでしょうね？。

I: あー、自分は、やっぱり〈うん〉、あれは一応フィクション、フィクションとなっておりますけど〈はい、はい〉、まー、本当にある、そうではないかって〈うん、うん〉、思わせちゃうんですね、やっぱり〈はい〉。

で、実際に〈うん〉、そういう、絵の、あの、ダビンチが、えが、かいた、絵とかの説明が、実際にインターネットに行って、その絵を実際に見て、あー、ほんとだ、み〈うん〉、それは、すごく面白かったですね、それは。

T: うん、なるほどね。

で、あの、【I】さんのようにね、ほんとに〈はい〉、あの、本を読むのが好きだったり〈はい〉、そういう人、ほんとに、あの、最近少なくなってきたんですね〈うん〉。

活字離れとって〈うん〉。

これは、そ、あんまり、そのへんは感じませんか、みんなよく読んでますか、周りの人は？。

I: 周りの人、読んでないですね {笑}。

T: ですよね〈はい〉。

これ、どうやったら、また、活字離れを戻すことができるでしょうかね？。

I: あー、それはやっぱり、ちゃんと、薄い本でもいいし〈うん〉、毎日、暇なときに〈うん〉読んでみたりとか〈はーはー〉、そういうのを、少しずつ〈うん〉、こう、慣れていくと〈うん〉、自然に、こう、本を買いに行つて〈なるほど〉、読めるようになったりすると思う。

T: でも、でも、どうして、それを学校がやらないんでしょうね、高校とかね {笑}。

I: そうですね {笑} 〈うん〉。

一応、中学のときに〈うん〉、えー、毎朝、あの、朝の会の〈うん〉10分前に〈うん〉本を読むっていうのが〈うんうん〉ありましたね。

T: はい。

そうですか。

I: それは、うん、良かったと思いますね、それは。

T: はー。

もしも、今度、大学行って〈はい〉、あの {笑}、そういうね、えー、子どもたち、中学生、高校生に〈はい〉本を読ませる〈はい〉、えー、そういう、あの、ための訓練、そういう〈はい〉、運動する会に入ったら、どんなことを特に {笑}、あの、みんなに提言しますか？。

I: まず〈はい〉、読みやすい本とか〈はい〉、ちょっと、リストとか作つて〈うん〉出してみたり〈はい〉、んー、それぐらいしか思いつかないですかね〈うん〉。

T: ほかに、な、あと、ないですかね？。

いいですね、ほ、読みやすい本をね、こう、リストアップする、はい。

I: んー、いや、{ブレス}、本のおもしろさある、それを、映画、そういえば、『ハリーポッター』とか、映画だけじゃなく〈うん〉、やっぱり、本、自分は本のほうが〈うん〉面白いと思つてますんで〈はい〉、それを、なんとか〈うん〉、伝えよう。

こういう、例えば、本にはあるけど〈うん〉、映画には〈うん〉、実際には〈はい〉、やってないっていう〈うん〉、そういう部分はたくさんあつて〈うん〉、それ〈うん〉、それ、伝えたい、本を、できるだけ本を読むよ

X002

うに〈うん〉する。

T: なるほどね〈はい〉。

ちょっと、あと、聞き、うかがいたいのは、それ制服ですよ。

I: 制服です、はい。

T: で、あの、日本ではね〈はい〉、制服^レがいいって、は、考えと、あの、それはっていう考えありますけど〈はい〉、【I】さん、どっちですか？。

I: え、制服、嫌いじゃないです {笑}。

T: 嫌いじゃないですか。

I: うーん、はい。

好きですけど。

T: やっぱ、く、あの、高校には、せ、制服あったほうがいいですか？。

I: はい、そうですね、やっぱり、私服になる…

T: お？。

I: んー、ちゃんと [ちゃんと] した服装が、いいですね、やっぱり。

T: あー、そうですか。

I: はい。

T: だけど、せっかく高校生の〈はい〉、こう、いろいろね〈はい〉、感性豊かなときに〈はい〉、感受性があるときに、やっぱ、自由に、個性の〈はい〉ある服装をしたほうがいいんじゃないんですか？。

I: でも、やっぱ、学校ですしね {笑} 〈はい〉。

やっぱ、そう、ちゃんと〈うん〉していかないと、やっぱり〈うん〉、は、みんな、派手な服装で行ったら、たぶん、ちょ、んー〈うん〉、良くないと思いますね、それは。

T: そうですね。

I: はい。

T: じゃ、個性豊かな洋服だけど、やっぱり、その、規則だけ、ちょっと決めて〈うん〉、あまり派手にしないでしたら、やっぱり、その、センスが磨かれていいんじゃないんですか？。

I: あー、そうですね。

でも〈うん〉、んー、や、着たい服は、やっぱり、自分は、出かけたときに着たいので、やっぱり、学校に行くときに、選ぶのは、む、そういうのは、やっぱり面倒くさいですし {笑}。

T: なるほど。

学校は学校で、{笑}…

I: やっぱり、決まった…

はい。

T: そのほうが、しゃきっとしますか、{笑}。

I: ****。

はい。

T: なるほどね。

じゃ、やっぱり、制服、賛成派？。

I: 賛成しますね、はい。

T: そうですね。

I: 賛成です、はい。

T: わかりました。

あの、今、いろいろうかがったんですけど、ここから、ロールプレイをしたいんですけど〈はい〉、ロールプレイはご存知ですか？。

I: ロールプレイ、ロール…

T: えーと、2人で、あの、役を決めて〈はい〉、あの、ま、ミニドラマやりますね。

I: はい、わかりました。

T: で、えーと、まだ大学生じゃないですけど〈はい〉、たぶん大学になったら〈はい〉、なんか、サークルとか入ると思うんですけどね〈はい〉。

いいですか？。

I: はい。

X002

- T: あの、なんの、どんなサークル入りたいと思ってます、【I】さん？
- I: あ、まだ、サークルは、全然考えてないですね。
- T: 考えてないですか〈はい〉。
- ま、じゃ、あの、た、例えば、友だちとね〈はい〉、いろんな、ちょっと、小さなサークルで、で、そこで、あの、偉い先生、ね〈はい〉、えー、【地名6】の偉い〈うん〉、大学の偉い先生〈はい〉、ま、学長にしましょうか〈はい〉、【T】学長に、えーと、自分のサークルが、あの、講演会を主催するので〈はい〉、えー、講師に来てくださいと、ね。
- えー、大学生の、んー、まー、将来の考え方でも、なんでもいいですから、なんか、その、テーマで、あたしに講演を頼みに来てください。
- あたしは、若者の研究をやっている有名な教授です。
- I: そういう…
- T: いいですか？
- I: うーん、すいません、ちょっと、まだ。
- T: 大丈夫ですか？
- I: え…
- T: あの、大学に〈はい〉、今度、大学入りますよね〈はい〉、大学の学長に〈はい〉、学長に、はい、一番偉い先生に、こう、講演を頼みに来てください。
- 自分たちで、えー、講演会をやり…
- I: そういう講演をやりますっていう…
- T: はい、そこの代表です、【I】さん。
- I: それを、テーマですか？
- それ…
- T: あ、テーマでも、なんでもいいから、頼みに来てくだ、テーマはどちらでもいいです。
- I: テ…
- T: テーマは、『若者の生き方』にしましょう。
- そのことについて、頼みに来てください。
- はい、どうぞ。
- はい、どうぞ。
- I: んー。
- では、失礼します〈はい〉。
- あー、つ、ちょっと、{笑}、やりづらいです。
- えー、*、*、*…
- T: あ、さっき、あの一、き、えー、あの、き、お電話くださった、あの、えー、【I】さんですね。
- I: あ、はい、そうです。
- T: はい、あー、はいはい、お待ちしてました、はい。
- どんな御用でしょうか？
- I: や、え、今日、ちょっと、頼み、頼みっていう〈はい〉、頼みがありまして〈はいはい〉、その〈ええ〉、こーういん [講演] を、や〈はい〉、ちょっと、やってもらいたいわって〈うん〉、やってもらいたいわんですが〈はいはい〉、ど…
- T: えー、どんな講演ですか？
- I: えー、やっぱ、人間の、人間、あー〈うん〉、ちょ〈はい〉、…。
- ***…
- T: あの、えーと、その大学で〈はい〉、あの一、の、大学生が、聞きに来るんですよ。
- I: あー、はい。
- T: はいはい。
- なんか、さっき、あの、あれでは、あの一、なんか、若者の生き方とか、なんか、っていう話でしたよね、あの、仰ってた。
- I: あー、はい。
- T: そのことについて、話せばいいんですね。
- I: そうです。

X002

- T: はい、はい (はい)。
聞く人は、どれぐらいですか、人数とか？。
- I: あー、ひとクラス [1クラス]、うん、です。
- T: あー、そうですか。
- I: はい。
- T: わかりました。
えーと、あと、じゃ、時間とか、なんか、詳しいことは、ですけ、日にちだけ教えてください。
いつが、きば、ご希望ですか？。
- I: あー、それは学長の (うん) 都合に合うような日でいいので。
- T: わかりました。
えーと、じゃ、あの、こちらの希望を【I】さんに (はい)、えー、お知らせし、すればいいですね (はい)。
それから、また、じゃ、あの、ゆっくり、あの、相談しましょう。
- I: はい、お願いします。
- T: はい。
今日は、まー、わざわざ、はい、ここまで、あの…
- I: いえ。
- T: 来てくださってありがとうございました。
はい、じゃ、楽しみにしてます。
はい、あの、これで、ロールプレイ終わりますけれども (笑)、はい、{笑}、あの、ね、まだ入る前であ
れですけども…
- I: 難しいですね、{笑}。
- T: うん、まー、あの、ちょっとやってみました、はい。
あの、サークル入るつもりないんですか？。
- I: サークルは、まだ、み、んー (うん)、考えてないですね、まだ。
- T: うーん。
決まったの、いつですか、大学が？。
- I: 大学は、やっぱ、3年生になってすぐ。
- T: あー、そうですか。
- I: すぐ、5月ぐらいです。
- T: んー。
じゃ、あの、いろいろね、あの、夢も膨らみますね。
- I: いや、はい。
- T: はい。
あの、楽しいね、あの、大学生活送ってください。
- I: あ、はい。
- T: はい。
- I: ありがとうございます。
- T: はい、今日はどうもありがとうございました。
- I: あ、いや、こちらこそ、ありがとうございました。